



発行者: 社会福祉法人じねんじょ
発行日: 令和4年9月1日
TEL: 083-252-2227
FAX: 083-252-2259
E-mail: jinenjo@jinenjo.or.jp
http://www.jinenjo.or.jp

大地

(じねんじょ通信)

VOL.
38
2022/9

「山口県西部医療的ケア児支援センター」が開設されました

社会福祉法人じねんじょ理事長 金原洋治 / 山口県西部医療的ケア児支援センター 小寺美帆

令和3年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が成立し、9月から施行されました。この法律の成立により、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資する等の目的を踏まえ、都道府県において早期に「医療的ケア児支援センター」(以下「センター」)を開設することが検討されています。このような中、山口県は令和4月1日に2か所センターを設置することとし、そのうちの一つに社会福祉法人じねんじょが選ばれました。

社会福祉法人じねんじょは、重症心身障害児者と言われる方たちの地域生活支援の拠点となるよう、平成16年の設立以来、3つの通所事業とヘルパー事業、相談事業を展開してきました。利用者の中には医療的ケアを必要とする方が多数おられ、協力医療機関のかねはら小児科をはじめ、県内外の医療機関との連携をしながら支援を行ってまいりました。

また、平成28年の相談支援事業所を立ち上げ以前から、済生会下関総合病院NICUから退院した障害や病気を抱えて暮らす子どもたちの相談を受ける機会が多く、そうした子どもたちに必要なサービスや支援は何かを協議する場を設け、利用者を中心とした支援者のネットワーク構築に尽力してきました。

以上のような経緯から、当法人には重症心身障害児者のみならず、医療的ケア児の相談も多く受けてきました。医療的ケア児の支援には、医療・教育、福祉、行政など様々な分野の関係者の理解と協力が必要であり、多様な課題を整理し、一人ひとりの子どもの成長発達に合わせた支援や家族のライフスタイルに応じた支援が求められます。また社会資源が十分とはいえない現状を踏まえ、資源開発に向けた取り組みも積極的に行う必要があります。

センター事業を委託していただいたことにより、医療的ケア児等の相談窓口が明確になったことは、ご家族だけでなく支援者にとっても一定の安心感をもたらすものと考えています。今後は山口県東部医療的ケア児支援センター(社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園に委託)と共に、山口県で生まれ育つ子どもたちと家族のために連携して支援を行っていききたいと思います。

ボッチャ大会

6/19(日)下関市障害者スポーツセンターにて、レクリエーションボッチャ大会に参加しました。前の週の金曜日には他メンバーが準備した壮行会が行われ、メンバー5名がそろって参加しました。メンバーからのエールを拍手で返し、やる気十分で当日に臨みました。

3年ぶりの大会ということで今回が初参加となるメンバーもいる中、一球一球楽しんで試合に挑みました。勝利にはつながりませんでしたが、じねんじょ同士の対戦ではお互いに応援をしながら、また大会に参加された外部の方とも交流を深めることができました。

暑い中参加していただいたメンバー、ご家族の皆様、お疲れさまでした。



生活介護サービス事業所 じねんじょ

手芸グループ

月に一度開催されるJマルシェまでの1か月の流れも定着してきており、手芸グループのメンバーも作品作りを順調に進める事が出来ています。得意な作業や、一つの作業を極めるメンバー「自分にしか出来ない!!」という気持ちの姿勢も現れてきています。役割があるメンバーは、“お仕事”として、商品の値札付けや、陳列、袋詰め、チラシ貼りなど、自身のは・た・ら・きに励んでいます。

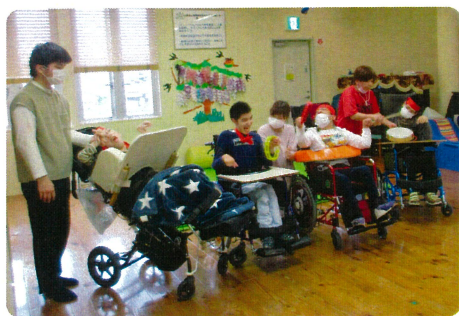
Jマルシェでの一番人気はさをり織商品で、コースターや、ティッシュボックスカバー、手さげカバンなどにも一部使用しています。メンバーの、普段頑張っている活動姿をみなさんに見て頂きたいと思い、パネルにしてみましたので、来店時には是非ご覧ください。



スポーツグループ

スポーツグループは、同じフロアで制作を頑張っている手芸のメンバーに向けてチアの応援を行いました。月ごとにリーダーを変えてメンバー中心に楽しんでもらえる曲選びや演出を考え披露しました。

NiziUの『make you happy』に合わせてポンポンを振ると、手芸グループに元気を届けられただけでなく、スポーツのメンバーも達成感を得られたと感じました。今後は他フロアに向けてもエールを届けていきたいと思います。



地域交流グループ

今年の5月から、木曜日のJマルシェをひなたが担当することになりました。

注文から手渡しまで、みんな緊張の面持ちですが、その後の達成感の笑顔がとっても素敵です。普段はマスクが苦手なメンバーも、接客中は最後まで外さず過ごせるようになりました。自分の役割を意識しながらも、地域の方との交流を楽しもうとしているのかな、と感じています。

また、以前の様な交流の再開を目指し、大正浪漫館にJマルシェのチラシやコーヒーを持って挨拶に行ってきました。この度は対面ではなく、まずはオンラインでの交流から再開しようという話になり、実際楽しむことができました。その様子はSNSにアップしているので、良かったらそちらの様子も覗いてみて下さい。



生活介護サービス事業所 だいち

喫茶グループ

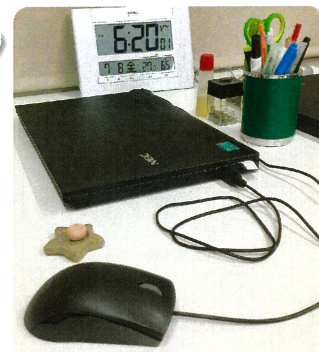
喫茶グループではJマルシェが始まって約1年経つということもあり、コーヒーの味の研究を行いました。6月ではホットコーヒーではなく、アイスコーヒーの方が喜ばれるだろうと考え、アイスコーヒーの場合どのように作れば美味しくなるのかを追求しました。豆を粗く挽いたり、細かく挽いたり、水の量を変えてみたりしました。微妙な差だったためメンバーさんにも難しかったと思いますが、最終的には美味しく淹れることができましたと思います。



陶芸グループ

陶芸作品の楽しみ方、新しい作品を研究、実験をしています。

今回は、素焼きした物に、アロマオイルをつけて使ってみました。現在、職員に実際に使ってもらっています。その後は、香りを楽しむ、デザインなどの感想を聞いて回る予定です。



放課後等デイサービス事業 むく

令和4年6月27日(月)より、『放課後等デイサービス むく』がいよいよ新住所(生野町2丁目27番の7)にて活動を開始しました!!新しい空間、新しい匂い…。フロアに入るなり、目をキョロキョロ動かしいろんな情報を集めるメンバー、気が済むまでお部屋めぐりをするメンバー…。先日はフロア全部を使って、みんなでキャッキャ言しながらボール投げをしました。

新しい環境に毎日メンバーさんも職員もドキドキわくわくです。これからお友だちと一緒に“楽しい活動の思い出”を作っていきたいと思います!!

皆さん、よろしくお願いしまーす!!



児童発達支援事業 むくっこ

令和3年12月に現在より過ごしやすいようにと、D&Aビル(元おくぞの耳鼻科)へ移転が決まりました。工事が始まる前や工事中のときなど、子どもたちと一緒に散歩を兼ねて幾度か様子を見に行きました。大工さんや現場監督さんなど工事に関わる方々にも声をかけいただきました。子どもたちも私たち職員も、自分たちが新たに生活をする場所が出来上がっていく様子を、間近で見ることができました。

令和4年7月19日(火)から新しい場所、環境で、新しい生活が始まりました。新しい環境が子どもたちにとって、最善の場所となるように児童職員一丸となり、子どもたちの成長を見守っていけたらと思っています。今後新しい環境での様子もお知らせさせていただきます。



新しい環境で!! スタート!(^^)!

通常てんかん発作は1～2分でおさまりますが、5分以上続いた場合はてんかん重積状態として治療を開始します。医療機関受診までの治療法としてダイアップ坐薬が使われていますが、現在てんかん重積状態治療薬として「ブコラム」が日本でも承認され2020年から全国で処方され始めました。それをうけて今回、事業所での対応について考える機会となりました。ブコラムはこれまで使用していた薬に比べて効果が高いこと、頬粘膜から投与できることから素早く対応することが可能です。

送迎車内・施設内での抗けいれん剤投与について、救急搬送手配の基準について等、主治医の先生を含め、金原先生、相談員、担当の看護師でZOOMを使って情報の共有・連携することができました。それを基にシミュレーションを行いマニュアルを作成し、どの職員でも安心・安全に対応できるような体制づくりに努めています。

褥瘡とは、体の一部が圧迫し続けられることにより酸素や栄養が十分に供給されなくなり、皮膚が壊死し、皮膚潰瘍を生じた状態をいいます。圧迫にくわえ、皮膚の摩擦やずれなどの刺激がある場合は、褥瘡形成の危険は高まります。他にも栄養状態や皮膚の乾燥、湿潤、疾病、服薬との関係などの条件が加わることによって、褥瘡の悪化が促進されます。

褥瘡の予防方法として ①体位変換 ②予防用具の使用(クッション等) ③皮膚摩擦やズレを防ぐ ④身体の清潔保持 ⑤栄養をとる などがあげられます。今回は栄養について注目していきます。

栄養状態が良好である場合、早期の対応によって褥瘡の悪化を防ぐことができます。褥瘡をつくらないためにも日頃の栄養が大切になります。

褥瘡の予防・治療に必要な栄養素

1. エネルギー…身体を維持するためのエネルギーに、修復するためのエネルギーをプラスする必要があります。
2. たんぱく質…皮膚の再生に必要な不可欠な栄養素です。しかし、たんぱく質を摂取しても他の栄養素が不足しているとたんぱく質合成が進みません。(ビタミン類、亜鉛も一緒に摂取)
3. ビタミンC、ビタミンA…コラーゲンの生成に関与。ビタミンAは皮膚や粘膜を強くします。
4. 亜鉛…タンパク質の合成に必要な栄養素です。
5. 銅…コラーゲンの合成に関与しています。

多くの種類の補助食品が出ています。ゼリー状やドリンク状、流動状になっているものなど様々なものがあります。味も様々です。試してみるのもよいと思います。



アイソカル100

カロリー 200kcal
たんぱく質 8g
ミネラル・ビタミン類も入ってます。



メディミル ロイシンプラス

カロリー 200kcal
たんぱく質 8g
ミネラル・ビタミン類も入ってます。



エンジョイ アルギーナ

カロリー 200kcal
たんぱく質 5g
ミネラル・ビタミン類も入ってます。



エンジョイゼリー プラス

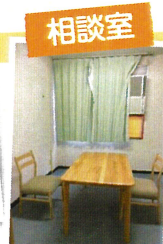
カロリー 360kcal
たんぱく質 14.4g
ミネラル・ビタミン類も入ってます。

相談支援事業所じねんじょが移転しました

令和4年7月19日よりD&Aビル5階に相談支援事業所じねんじょが移転しました。それに伴い、山口県西部医療的ケア児支援センターも専用スペースを設けることができました。相談来られた方がほっと一息つける空間づくり、支援者が会議等で気軽に集まれる空間づくりを目指したいと思います。



事務所



相談室

共有
スペース

寄付者氏名

令和4年8月17日現在(順不同、敬称略)

やまぐち小児科・梅光学院

大畑一郎・株式会社 落合商会・岡田理

株式会社 フタバ工芸社・時高留衣

ありがとうございました!

編集後記

今号は、山口県西部医療的ケア児支援センターの開設、放課後等デイサービス事業と児童発達支援事業の引っ越し、Jマールシェでの取り組み、を主に報告させていただきました。コロナ禍でありながらも、メンバーの、やりたいこと、出来る事を工夫しながら、笑顔になれる日々を送っています。毎週更新されるSNSでも活動紹介をしていますので、覗いてみてください。

SNS

Facebook



Instagram

